

就職活動日誌

<内定先>

業種：旅行業

選考方法：エントリーシート、Web テスト、履歴書、集団面接×2、個人面接

<就職活動の流れ>

2012年9月

- ・旅行業1社・ホテル業1社の1日インターンにそれぞれ参加

10月・11月

- ・大学内のSPI模擬テストを受験
- ・大学内の就職ガイダンスに参加
- ・英検、TOEIC 受験

12月

- ・就活サイトや各企業のサイトチェック、エントリー
…業界は漠然と旅行・航空関係がいいなと考えていたが、広告、外資系メーカー、物流、ホテル、ブライダル、損保など幅広くエントリーしていた
- ・学内・学外の合同企業説明会に参加
- ・気になる業界の業界セミナーに参加
- ・SPIの勉強

2013年1月

- ・学外の合同企業説明会に参加
- ・企業の個別説明会に参加…週2日くらい
- ・エントリーシートを書く…主にWeb上の提出で字数が少ないものが多かった
- ・旅行会社勤務の数人にOG訪問
…業界や会社の話を聞くほか、就活のアドバイスやエントリーシートの添削などもしていただき、とても参考になった

2月

- ・企業の個別説明会のピーク
 - …週 4〜5 日くらいで、ほぼ東京にいた。説明会の日にはちや時間帯が選択できる場合はなるべく 1 日に 2 社、多い時は 3 社いれたり、わざと連日にまとめて滞在中は姉の家に泊まったりしていた
- ・毎日のようにエントリーシート・Web テストの締め切りに追われていた
 - …Web テストは 2〜3 種類のうちのどれかを使っている会社が多いので、対策本(SPI ノートの会) で対策しておくこと、志望度の高い会社の前に違う会社のものを経験しておくことが大事
- ・面接、グループディスカッションが始まった
 - …面接後フィードバックしてくれる会社があり、とてもためになった。志望度の低い業界・企業でもこの時期から面接を経験していくことは後に生きてきたと思う
- ・大学のキャリアセンターでキャリア相談 (ES の添削、業界選択の相談など)

3月

- ・個別説明会そのものの参加は数社のみ
- ・説明会兼一次試験 (筆記試験・GD) というものが増えた
- ・テストセンターや企業個別の筆記試験を受験
- ・キャリアセンターの個別相談や新卒ハローワークで面接の練習
 - …キャリアセンターは予約が取りづらいけど、ハローワークはわりと柔軟に対応してくれるのでとても役立った
- ・初めての最終面接…不合格

4月

- ・面接ピーク…業界は旅行・航空・物流がほとんど
- ・損保から内々定
- ・志望度の高い企業たちからの不合格通知

5月

- ・旅行会社から内々定
 - 損保を辞退、この時点で選考が続いていた数社 (物流・航空) のみ受け続ける

7月

- ・物流会社から内々定
 - 決め切れずにキャリアセンターや先輩等に相談しまくり、最終的にかねてからの志望だった旅行会社に決めた

<就活を振り返って>

・アルバイトについて

アルバイトは1月からは週2回程度でやっていました。いい気分転換にはなりますが、急な説明会や面接の予定と重なったり、ES提出締め切りのピークの時期だと辛いので、週末だけ、朝だけなど予定が入っても影響しないところで入るようにしていました。

・業界、企業選択について

就活が進むごとに志望業界が狭まるどころか広がっていくことに不安を感じ、進路相談に行ったこともありました。しかし、今思えば、それは自分の視野や可能性を広げられたし、たとえば旅行会社と保険会社がつながっている、メーカーと物流会社がつながっているなど、社会全体の中でその業界、企業がどのような働きをしているのかを知るきっかけになったと感じます。それは、後に面接が本格化したときの志望動機の裏付けに役立ちました。なので、はじめから無理して業界を定める必要はないと思います。ただ、共通する志望として「国際間でのやりとりができる仕事」「将来的に海外出張・勤務をしてみたい」といった意志があったことで、それにより近い仕事、会社はどれかと考えることができたので、おおまかでも「ゆずれないもの」を自分の中に持っておくことは大切だと思います。

また、業界によって説明会や面接のピークとなる時期は様々です。私が受けていた中では、ホテル・ブライダル系は2月からと早く、広告・物流は3月頃、旅行業は4月から、航空系は5月以降のものがほとんどでした。だから、周りとの忙しさを比較しすぎることはないし、自分のペースをしっかりとって取り組むことが重要だと思います。また、面接の数をこなしていくことで、面接自体に慣れるのはもちろんですが、面接の対策をしていくこと、自分なりに質問に答えていくことが、そのまま自己分析になっていたと思います。だから、志望度の低い業界、企業でも気を抜かずに受験してみて自分と向き合っていくことが重要だと思います。

・就活全体を通して

就活は、基本は個人戦で心細くなることもあると思いますが、孤立しすぎないことがいちばん大切だと思います。まわりの就活生との悩み共有の場や、先輩や家族との相談の機会はどんなに忙しくても定期的にもっておくべきだと思います。周囲からの客観的な意見は素直に受け入れて参考にすることでより自分と向き合えるはずです。

最後に、就活ほど社会の仕組みを学べる機会、会社の内部について知れる機会はなく、人生の中でもとても貴重な経験だったと感じています。提出書類や受験の締め切りに追われたり不合格通知をもらい続けたりすることは確かに辛い日々ですが、いろいろな意味で社会を知っていくことのできる貴重な機会を楽しんでいく姿勢をもつことが大切だと思います。